



ESL International, Inc

Newsletter

ニュースレター 2014年7月 Vol.13

Y.E.S.サンディエゴ本社
4026 Dove St. San Diego, CA 92103
TEL 619.501.7953 FAX 619.450.6963
Email: info@yeesinternational.com

アメリカ留学情報

特集【野球留学・サムライサンディエゴ】 2014年度WBAサマーリーグが閉幕（6、7月開催）



サムライサンディエゴ球団について :2014年度成績(6月21日~7月20日): 14勝8敗1分

サムライサンディエゴは、サンディエゴ市に拠点を置く大学野球選手主体のクラブチーム球団で、アメリカ人大学野球選手たちのみならず、日本人野球選手にもスポーツを通じた国際経験をを通じて、人間的な成長を促す環境の提供を目指している球団です。

サムライサンディエゴ球団には、これまで元サンディエゴパドレス大塚晶則(現信濃グランセローズ監督)、元西武ライオンズ土肥義弘氏らがコーチとして所属選手の育成指導にあたり、球団所属選手の日米独立野球リーグに入団、アメリカ大学野球リーグでの特別賞受賞など、これまでも選手育成の成果を発揮しています。



2011年設立
Y.E.S.運営球団
SAMURAI San Diego

開催目的: 1ヶ月間のカリフォルニア サマーリーグへの参加を通じて選手が、自身の技術面、精神面を含む人間的な成長をする機会を得ること。自国以外の野球選手と一緒にプレーする機会を得ること。アメリカ・日本で更に上のレベルの野球にチャレンジする機会を得ること。

開催概要: カリフォルニア・サマーリーグ連盟であるWBA(ウエスタン・ベースボール連盟)に所属する球団「サムライサンディエゴ」で合計約25試合を戦い、リーグを視察に来るMLB球団、マイナー球団、独立リーグ球団、大学野球部首脳陣などに能力をアピールする。

WBA(ウエスタン・ベースボール・アソシエーション)について

1998年に発足したロサンゼルス、サンディエゴ地区の大学野球選手が所属するクラブチーム球団の夏季野球リーグ連盟です。現在同連盟には、サムライサンディエゴ、サンディエゴマーベリクスなど、15のクラブチーム球団が所属しており、6月~7月の夏季シーズン中に各球団が約30~40試合を開催し、リーグ優勝チームは8月初旬から開催されるクラブチーム野球全米トーナメントに出場しています。南カリフォルニア地区の各大学野球リーグで活躍する学生選手が多く参加するため、アメリカMLB球団スカウト人も注目するリーグです。2012年に読売巨人軍でプレーしたエドガーゴンザレス選手、また弟で現LAドジャーズの主砲エイドリアンゴンザレス選手も同連盟所属球団でプレーした経験があります。



WBA所属2チームが日本独立リーグ四国アイランドリーグplusの選手育成球団となる

2014年2月、四国アイランドリーグplus(四国ILP)が選手育成を目的としてWBAに所属するクラブチーム球団の「サムライサンディエゴ」、「サンディエゴマーベリクス」の2球団を傘下球団としました。この提携の狙いとして、日本とアメリカの野球選手たちが母国語や習慣などの違う選手達とともにプレーする経験を通じて、多種多様な文化を理解する広い視野を持った選手を育成し、四国ILP、また更に高いレベルのリーグで活躍できるための選手育成環境を提供することです。





サムライサンディエゴ監督 シェイン・ホイットニー氏

サンディエゴ州立大学で社会学を学び、生涯学習、生涯健康についての高校生への教育の重要性を感じ、学生への健康健全な生活習慣に向けた啓蒙活動、教育支援への従事を目指す。健康と生活習慣に関わる情報リサーチ機関『レスキューSCG社』に入社し、高校生を対象とした学生課外活動プログラム事業やアメリカ食品医薬品局傘下プロジェクトの若年層の喫煙削減プロジェクトにも携わる。またサンディエゴ市カーニー高校野球部のコーチも務める2012年よりサムライサンディエゴに関わり、2013年より球団監督を務める。



投手総合コーチ 土肥義弘氏

春日部共栄高校のエースとして第75回全国高校野球選手権大会にて準優勝を果たす。高校卒業後、社会人野球の名門プリンスホテルを経て、97年ドラフト4位で西武ライオンズに入団。その後西武ライオンズ、横浜ベイスターズなど日本プロ野球界で13年間プレーし、2012年には米独立リーグ球団でコーチ兼任投手としても活躍する。2013年にサムライサンディエゴ球団の投手コーチとして球団に所属するアメリカ人選手、日本人選手を指導。サムライサンディエゴ所属の指導選手がアメリカ大学野球リーグの開幕戦を務めるなど、日米ともに豊富な選手育成指導実績を誇る。



野手担当コーチ ケビン・レインキング氏

ニューヨーク州ホフストラ大学野球部4年次にキャプテンを務め、卒業後2002年にサンディエゴパドレス球団にドラフト外で入団。入団年に傘下2A球団まで上がり、翌年もパドレス傘下マイナー球団2A、カンザスシティロイヤルズ傘下球団、コロラドロックーズ傘下球団でもプレーする。プロ球団に所属している間もシーズンオフに学業を続け、マーケティング分野でのMBAも取得。現在、カールスバッド高校野球部のコーチを務める傍ら、知的発達障がいをもつ人の参加するスペシャル・オリンピックスの活動、高齢者ケア施設や小学校の課外教育プログラムを支援するなど、地域コミュニティーの支援活動にも関わる。2014年からサムライサンディエゴ野手担当コーチに就任

【インタビュー】サムライサンディエゴ監督・ホイットニー氏

■サムライサンディエゴの選手育成環境について

サムライサンディエゴには豊富な知識経験があつて選手の間人形成を主眼とする指導者がおり、選手たち同士でお互いから多くを学ぶ環境も整っています。それぞれ違う母国語や文化、ライフスタイルをもつ日本人選手とアメリカン選手がともに同じチームで試合をする中で、選手たちは野球の知識だけでなく、お互いの文化についても学び、自身の視野を世界に広げていくのです。

日本のプロ野球界で輝かしい実績をもつ土肥義弘コーチのような指導者がさまざまな角度から選手を指導してくれることもサムライサンディエゴの選手を成長させる大きな要因で、選手たちは指導者との関係、また自分と違ったバックグラウンドをもつ選手たちとの関係の中で自身の人格や野球の知識を広げていきます。

私自身が20年以上野球をしてきている経験のなかでも、サムライサンディエゴのような特別な環境を提供している球団は稀有だし、選手たちにとって非常に貴重な経験が積める環境だと思っています。

■サムライサンディエゴ球団の目指すものについて：

サムライサンディエゴ球団が目指しているのは大学野球選手、また大学野球を終える選手に、更に上のレベルでもプレーができるためのチャンスを広げてあげることです。サムライサンディエゴでプレーすることで、選手たちは日本のプロ野球界や、アメリカ各地の大学野球チームへのつながりを持つことができるようになります。

サムライサンディエゴはアメリカや日本の野球界をつなぐネットワークを利用して、選手たちにアメリカでのプレーだ

けでなく、アメリカを離れた海外でも国際的にプレーする機会を提供することができるのです。

2014年2月に締結した日本独立リーグ四国アイランドリーグplusとの提携によって、サムライサンディエゴは今まで以上に選手たちに日本の野球界へとつながる道筋を提供するようになりました。

アメリカの大学野球部が学生選手たちに求めるのと同じように、サムライサンディエゴでは各選手それぞれの技術とともに、野球に対するしっかりした姿勢や言動を求めています。

サムライサンディエゴでは、忍耐強く上品で、かつ敬意をもつという日本の文化、姿勢をアメリカン選手たちにも求め、選手たちが求められる人格面やスポーツマンシップは球団が各選手の野球の技術以上に重要視している点です。

サムライサンディエゴ球団が選手にその姿勢や言動を求めているのは、グラウンド内外で各選手たちがその人格を成長させることが、さらに上のレベルのリーグで活躍したり、また一社会人として社会で活躍するための人格形成につながるものだと考えているからです。



マーセッドカレッジ出身・永富翔太外野手 信濃グランセローズ入団！



永富翔太君（日大明誠高校ーカリフォルニア州マーセッドカレッジー信濃グランセローズ）サムライサンディエゴで3期にわたりチームを牽引した外野手永富翔太が、日本独立リーグ球団「信濃グランセローズ」に練習生として入団しました。

永富君はカリフォルニア州マーセッドカレッジでも広い守備範囲と打撃センスで大学野球地区リーグの特別選手賞を受賞するなど活躍しました。

サムライサンディエゴ2014年のチームコーチを務めたプロ野球解説者の土肥義弘氏は「守備力と脚力はNPBでプレーしていても周りの選手たちに引けを取らないレベル。あとは独立リーグでどれだけバッティングを向上させられるかプロに上がるための課題」と評価しています。

アメリカで日本球界を目指す選手対象の2つの合同トライアウトを2014年秋に開催

この合同トライアウトには日本独立リーグの四国アイランドリーグプラス、BCリーグに所属する球団の関係者が来場し、2015年シーズンの入団契約を提示する有望選手発掘に向けてトライアウト参加選手を視察します。

日本独立リーグ カリフォルニアトライアウト 2014

主催：SDSA（サンディエゴスポーツオーソリティー）
日時：2014年10月31日、11月1日、2日の3日間
会場：パロナ球場（カリフォルニア州サンディエゴ市）
来場スカウト：四国アイランドリーグプラス所属球団、BCリーグ所属球団
特別招待スカウト：東北楽天ゴールデンイーグルス、MLB球団スカウト来場予定



日本独立リーグ フロリダトライアウト 2014

主催：SDSA（サンディエゴスポーツオーソリティー）
日時：2014年11月5日、6日の2日間
会場：ジェットブルー球場（フロリダ州フォートマイヤー市）
来場スカウト：四国アイランドリーグプラス所属球団、BCリーグ所属球団
特別招待スカウト：MLB球団スカウト来場予定



フロリダトライアウト2014は、ボストンレッドソックス球団の協力のもと、フロリダ州フォートマイヤー市のボストンレッドソックス球団所有のジェットブルー球場にて開催します。ジェットブルー球場はボストンレッドソックス球団が春季キャンプで使用している球場で、ボストンレッドソックス傘下マイナー球団「ガルフコーストリーグ・レッドソックス」の本拠地球場です。

第一回・サムライサンディエゴ ジュニア野球キャンプ 開催（地域社会への貢献を目指して）



今夏、サムライサンディエゴでは野球キャンプを開催しました。アメリカでは、大学やクラブチームなどが夏休みを利用したサマーキャンプが盛んに行われています。サムライサンディエゴも4期目に入り、年々地元の方々からの応援も増え続け、何か地域に貢献できないか考えました。そして、チームの新たな取り組みとして子供達の育成に目を向け、地域と子供たちと共に成長することを目指しジュニア野球キャンプ開催に至りました。

ジュニア野球キャンプでは、沢山の地元球児たちが参加し、サムライサンディエゴのコーチ陣、選手達がキャンプ参加選手に野球の基礎から道具の取り扱いなど丁寧に指導しました。

【ジュニア野球キャンプ概要】

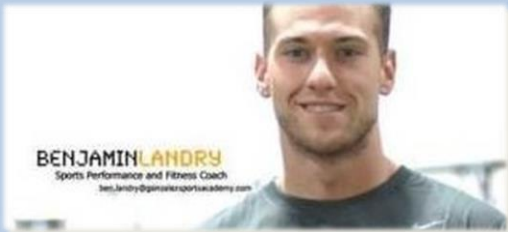
ウォームアップ、ランニング、キャッチボール、守備練習、バッティング練習を通じて野球の基礎技術を学び、野球に取り組む楽しさを感じることを目的とする。またサムライサンディエゴのチーム方針である礼儀やマナーについても重点を置き、教育の場として子供達の育成を図る。

トレーニングコーチ研修体験プログラムのご案内

プロアスリートをコーチするストレングス・トレーニングコーチ オブザベーションでの研修体験ツアー

カリフォルニア州サンディエゴにて、プロスポーツ選手のトレーニング指導をするストレングス・トレーニングコーチのアシスタントとして、トレーニング方法やアスリートへの指導方法を学ぶ研修体験ツアー。

最新のトレーニング理論に基づき各種プロスポーツ選手のトレーニングを実施するサンディエゴ・ストレングス&ウェルネス社にてトレーニング理論や指導理論を学び、選手トレーニングのナビゲート体験をするとともに、顧客リスト管理、新規顧客開拓マーケティング業務、施設内機器の整備など、ストレングス・トレーニングコーチの業務すべてに関わりまします。プログラム修了時にサンディエゴ・ストレングス&ウェルネス社のプログラム修了証が発行されます。



講師・ベン・ランドリー氏

米国海軍特殊部隊のトレーニング指導の経験をもつランドリー氏はMLBメジャーリーグ野球選手をはじめ、アメリカンフットボール選手、プロバスケットボール選手をはじめ、アメリカンフットボール選手、プロバスケットボール選手、格闘技選手など、トップアスリートのパフォーマンス向上に向けたトレーニングを指導しています。

全米スポーツ医学学会公認パーソナルトレーナー資格所有。

ランドリー氏のトレーニング指導を受ける主なプロ選手

- エイドリアン・ゴンザレス(野球、LAドジャース)
- エドガー・ゴンザレス(野球、元読売巨人軍)
- エバース・カブレラ(野球、サンディエゴパドレス)
- カッシュム・オスグッド(アメフト、サンフランシスコ・フォーティナイナーズ)
- ユージン・アマノ(アメフト、テネシータイタンズ)
- ジョエル・ジョーンズ(バスケットボール、プエルトリコ代表チーム)



ストレングス・トレーニングコーチ オブザベーションツアー

開催：2014年4月から随時受付中
機関：2週間(現地 13泊、ホームステイ滞在)
会場：サンディエゴ

参加資格：
学ぶ意欲・意志の強い方
*オブザベーションツアー期間中、日本語の通訳はつきません。

現地到着後のスケジュール：
1日目：現地到着、空港から送迎サービスを利用して移動
2日目：トレーニング施設にて研修開始
3日目：修了書授与、翌日現地を出発し日本帰国
日曜日はオフで自由行動となります。サンディエゴ市内観光などに行くことが可能です。

次号ニュースレターVol.13のご案内 (9月中旬配布予定)

7月下旬、日本外務省が推進する事業の一つであるKakehashi Projectから69名の中学生が2週間かけて、ニューヨーク、サンディエゴ、ロサンゼルスを訪れました。サンディエゴでは、3日間ホームステイして現地の家族と交流を持ち、日中は日本企業、現地大学、市長訪問などの社会勉強を行いました。このプログラムの模様を次号にてご紹介致します。

*Kakehashi Projectは日米間の青年交流を通し、日本に対する価値・関心を深めてもらうと共に、国際的な視野を持った次世代を担う人材の育成を目的とされています。

Y.E.S. ESL International, Inc.



アメリカ、カリフォルニア州サンディエゴに本社を置き、州立大学付属英語学校の運営や大学のホームステイサービスを手掛ける。独自の留学プログラムで多くの留学生をナビゲートする。



留学への第一歩。

アメリカ留学に関する相談はY.E.S.にお問い合わせください。